

町の人口（1月末）

- ・総人口 15,992人
- 男 7,668人
- 女 8,324人
- ・世帯数 3,970世帯
- ・転入26人・転出33人
- ・出生20人・死亡12人

町の花・ツツジ



（1月7日 井石郷）

## 生きる

## 伝統の炎！

ポーンポーンと生竹のはじける音——。今年も1月7日から10日にかけて、あちこちで「鬼火たき」が行われた。……勢いよく燃え上がる炎の前で親子のふれあいが広がる。“生きる伝統の炎”

今月で300号を迎えた「広報はさみ」。この炎のように、これからも勢いよく、そしてふれあい大切に、一歩一歩前進したいと思う。

# とともに 広報はさみ!!

昭和三十五年六月に第一号を発行以来、「広報はさみ」がおかげさまで三〇〇号を迎えました。町民のみなさまに愛され親しまれる広報づくりをモットーに今日まで編集してきましたが、これからも、みなさん一人ひとりにしっかりキャッチしていただくため、中味の濃い編集をと思っています。

三〇〇号発行にあたり、先に実施した「広報アンケート」の結果を紹介し、男女五人の方々に町広報紙に対する、ご意見、ご要望などインタビューしてみました。

## あゆみ

### 「館報はさみ」から

### 「広報はさみ」へ

昭和三十一年六月、上波佐見町と下波佐見村が合併し波佐見町が誕生。そこで町の情報紙として誕生したのが「館報はさみ」。当時町公民館で広報編集を担当し、いわゆる公民館報としてご愛読いただいております。お年寄りの方々が、今日でもよく広報紙のことを「館報」とよく呼ばれているのを耳にします。町政の動きはどうなっているのか、町の台所事情はどの

ような状態にあるのか、税金はどのように使われているのか、町のいろんな話題などを町民の方々のご要望に応え、そして広く伝え、お知らせしていこうと、昭和三十五年六月に「館報はさみ」から「広報はさみ」へと切り替わり、以降四十七年三月までタブロイド版で編集。そして四十七年四月から今日まで現在の大きさ（B5版）で発行してまいりました。



## 「広報はさみ」アンケートから

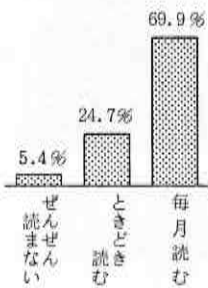
同紙三〇〇号を迎えるにあたり、町では「広報はさみアンケート」を昨年八月に実施。このほどその結果がまとまりましたのでお知らせします。

「学びあう社会づくりのための学習に関するアンケート」と併せて実施したこの調査。対象者は、町内に住む十代から七十代までの男女七百五人。このうち広報アンケートには五百九十一人の方々が回答をいただきました。（回収率八三・八割）

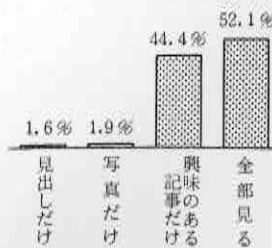
なお、「学びあう社会づくりのための学習に関するアンケート」では、六百十七人が回答、八七・五割の高回答率となっております。（同調査結果は次月号紹介）

ご協力誠にありがとうございます。広報アンケートの主な結果は次のとおりです。

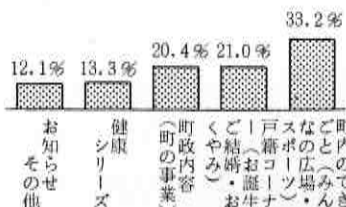
▼問一 「広報はさみ」を毎月読んでいますか？



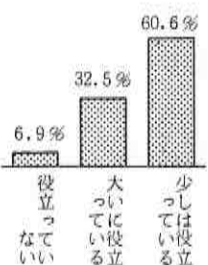
▼問二 どの程度、目を通しますか？



▼問三 主にどのようなところを読みますか？



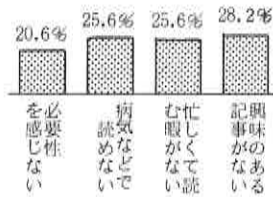
▼問四 「広報はさみ」は生活に役立っていると思いますか？



# 時の流れ 歩む



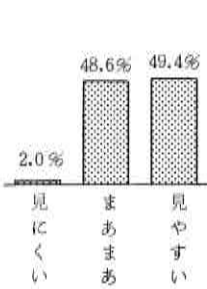
▼問五 問一で「ぜんぜん読まない」と答えた人の理由は？



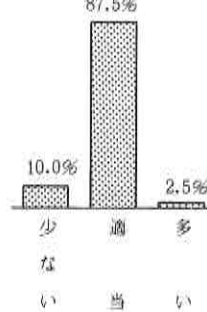
▼問六 今後特にどんな記事を見たいですか？（十五項目の中から五つお選びください）

- 一、町の事業 三〇六票
- 二、健康シリーズ 二二三票
- 三、各種お知らせ 二二五票
- 四、歴史や文化財 一九一票
- 五、町づくり（企画特集）一八五票
- 六、スポーツ 一五七票
- 七、戸籍コーナー 一四六票
- 八、農業・窯業シリーズ 一四一点
- 九、年金シリーズ 一二八票
- 十、サークル紹介 一〇七票
- 十一、子どもの広場 一〇五票
- 十二、人紹介 九七票
- 十三、消費問題 九三票
- 十四、事業所紹介 九〇票
- 十五、その他 七票

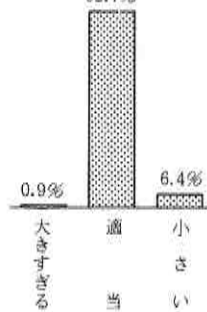
▼問七 「広報はさみ」を読んでいると思いますか？



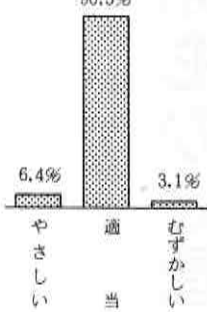
〈写真の数〉



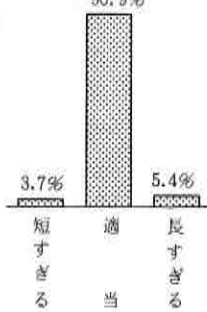
〈活字の大きさ〉



〈表現〉



〈文章の長さ〉



アンケートでは次のような意見が出されました。

- 料理、育児コーナーや、町内の事業所紹介を。
- 老人問題について深く取り上げて。
- ▼40代（男女）
  - 郷民より行政への質問、又はこんなことが知りたいというようなページを設けてほしい。
  - 町の大きい行事はカラー写真で。
  - 役場内の出来事を知らせてほしい。
- ▼50代（男女）
  - 文章や表現に堅い感じがする。
  - 編集バランスを今一歩研究し、写真を増やして。
  - 毎月楽しみにしている、現在でよい。町民のために頑張ってください。
  - 職業の紹介や部落紹介などの特集はどうか。
  - 年金等について詳しくのせて。
  - ▼60代（男女）
    - さらさら反射して見にくい。
    - 息子が東京から帰郷のたび広報紙を請求します。
    - 産業活性化のため、紙上シンポジウムを。
    - 家庭雑排水の問題を取り上げて。
  - ▼70代（男女）
    - ページを増やし文化面の拡大を。
    - 児童・生徒の感想文等を。
    - 健康に関する記事をもっと少し多く。
    - 子育て・母親教育について勉強するコーナーを。
    - 隠居生活の中で、健康に注意しての毎日です。毎月（の広報はさみ楽しみ）。
- 10代（男女）
  - コンサート情報などをもっと。
  - 子供の興味がある記事を書いてほしい。
  - 青年団の活動やPR等を。
  - クイズ、こわい話、おもしろい話をのせてほしい。
  - 各地区の出来事をもっとのせてほしい。
- ▼20代（男女）
  - 雑誌のように気軽に見やすく、本のようにまとめて。
  - 波佐見町は活気がないから、もっと元気がでるような記事をもっと意見や投稿もできるような、もっと増ページを。
  - 町内の出来事が写真入りでよくわかり、新鮮でとても良い。これからのいろいろな情報を。
  - お知らせはもっと広く大きくのせてほしい。カラー写真も出してほしい。
  - 町の歴史など連載で出してはどうか。
  - 役場の職員を課別に写真入りで紹介したら、少しでも顔を知ることができ、役場にも行きやすいのではないかと。
- ▼30代（男女）
  - 定規にとらわれず、のびのびと。
  - 高齢者の意見をのせて、………ためになる話を。
  - 特集記事を（例・陶器の現状と見通し、農業、サークル活動等）



町民レポーターによる  
特集記事を!!

山下美穂子さん  
(折敷瀬)

このページには「これだ」といった楽しみのあるシリーズものをお願いしたい。今取り組んでいる町の事業や台所事情など。もうちょっとかみ砕いて紹介してほしい。町民レポーターによる特集記事など取り組めば、ぐっと住民と密着した広報紙になるのではないかと。スポーツ記事など結果広報の傾向にあるし、先取り広報への研究を。



ふるさと情報  
毎月楽しみ!!

東京波佐見会  
事務局長 中尾 光さん  
(東京港区)

毎月ふるさとの情報紙楽しみに待っている。東京波佐見会の会員は現在約350人。波佐見の近況がわかり、会員は喜んで読んでいる。私達が今日あるのもふるさとのお陰。波佐見のために何か役に立つものをと会員同志で話し合っている。これからも、広報はさみ頑張れ!!

「広報  
はさみ」

私もひと言



疋田 武利さん  
(乙長野)

びっしり詰めすぎる感じ

記事も豊富になってきて、いろんな町内の話題を知ることができるが、びっしり詰めすぎる感じだ。もう少しスッキリした部分もあっていいと思う。  
標語(タイトル)付けにも十分注意してほしいし、文章も堅い部分(専門用語)が見られる。もっとかみ砕いた表現をお願いしたい。



村木 嶽下さち子さん  
(村木)

子どもが楽しむ  
広報づくりを!!

最近子どもたちが楽しんで見るようなコーナーが少ないのでは。子どもの作文や先生方の生の声を、取り上げるなど、半ページでもいいから増やしてほしいと思います。また、躰たがなど教育に関するシリーズものを是非お願いしたいですね。



野沢 浩人さん  
(野々川)

町づくりに対する  
若者のホットな声を

毎月目を通すようにしている。特に興味があるのは表紙の写真と最後のページの戸籍コーナー(誕生、結婚、おくやみ)。文章はできるだけ短くして写真で思いっきり表現してほしい。(視覚で訴えて)



これからも  
町広報紙に対する  
「意見」「要望」など  
よろしくお願いします。

### 三年連続

## 優等一席に長島さん(野々川)

### 第九回町肉牛共進会

第九回町肉牛共進会が二月六日、早岐家畜市場で開かれました。「肥育技術の向上と良質肉用牛の生産意欲を高めよう」と毎年開催されているもので、会場には、肥育農家で手塩にかけて育てた精鋭牛五十八頭が勢ぞろいし、体質均衡、発育状態などについて厳しく審査されました。



長島清美さんの二男・辰巳さんの持つ今年の優等一席牛

	本年度	昨年度
出品頭数	頭 58	頭 59
販売頭数	54	57
総販売額	千円 47,213	千円 47,235
平均体重	kg 670	kg 666
平均価格	円 874,314	円 828,684
最高価格	円 1,151,000	円 1,034,000
平均単価	1kg当 円 1,304	円 1,243
最高単価	円 1,560	円 1,507

清美さん一家の出品牛が見事三年連続優等一席に選ばれました。このほか、優等賞(二席から五席)四頭、一等賞十頭、二等賞十五頭もそれぞれ選ばれました。主な結果は次のとおりです。(敬称略)

▼優等賞 一席 長島則行(野々川)、二席 長島清美(野々川)、三席 尾崎徳助(永尾)、四席 小林与一(井石)、五席 久松金一(甲長野)

▼一等賞 一席 高尾晃(田頭)、同賞 中村正栄(鬼木)、安永勝美(協和)、松下仁作(田頭)、松下光雄(永尾)、長島

▼団体賞 野々川班

辰巳(野々川)、長島清美(野々川)、長島笑子(野々川)、太田三郎(岳辺田)、小田安昭(小樽)

▼二等賞 一席 森勝美(折敷瀬)、石橋国幸(鬼木)、松下仁作(田頭)、高尾晃(田頭)、山口満則(志折)、柿川良一(岳辺田)、福田和正(湯無田)、野口正憲(井石)、宮川三一(井石)、谷村惣一(井石)、野口正憲(井石)、谷村辰美(村木)、原尾善真(村木)、川口武義(川内)、松下貞夫(甲長野)



**人** 間に年齢があるように、樹木には年輪がある。ふつう一年に一つずつ輪が増えていくので、これを数えると樹齢が分かる。

## 年輪のない木材

わが国の木材供給量は年間九千五百万m<sup>3</sup>(東京の池袋サンシャインビル百二十八個分)ですが、その約三分の二を世界六十数カ国から輸入しており、その輸入量は世界の木材貿易量の約二割を占めています。木材に寄せる日本人の愛着の深さがうかがえます。ところで、林業は未

来産業の一つともいわれます。森林は石炭や石油のように枯渇する心配がなく、伐採しても順次木を育てていくことによって再生産が可能のため、日本にとっては貴重な自前の資源といえるのです。

戦後、焼跡から日本を再建するため、木材が住宅建築資材などとして孤軍奮闘の大活躍をしたのは、まだ記憶に新しいところです。



ドネシアなどが主な産地で、長い間、いわゆる外材のトップを占めてきました。それが、昭和六十二年に米材(米国、カナダ産)が、わずかながら逆転。ちなみに、これら南洋材と米材で外材全体の約八割に上っており、そのほかソ連材、ニュージーランド材などが続いています。



## 第32回波佐見一周駅伝大会

# 2連ば飾る!

第三十二回波佐見一周駅伝大会が、一月二十四日町内七区間二十九・八キロのコースで開かれました

今回出場したのは、史上最多の三十三チーム・三百三十一選手。時折小雪が舞う中、選手たちは沿道からの声援を背に懸命に力走。その結果昨年念願の初Vを果たした乙長野Aが見事二年連続優勝を飾りました。



▶二年連続優勝を果たした乙長野Aチーム

### 〈総合順位表〉

順位	チーム名	タイム
1位	乙長野A	1時間39分43秒
2位	川内	1 40 45
3位	村木A	1 41 28
4位	水尾A	1 43 31
5位	宿野A	1 44 18
6位	折敷瀬A	1 44 43
7位	皿山	1 45 04
8位	中尾A	1 45 55
9位	鬼木	1 46 14
10位	井石A	1 47 10
11位	金屋	1 48 02
12位	三股	1 48 51
13位	湯無田A	1 49 24
14位	協和A	1 50 23
15位	野々川	1 50 41
16位	田ノ頭	1 51 37
17位	永尾B	1 51 59
18位	村木B	1 52 25
19位	稗木場	1 52 38
20位	乙長野B	1 53 24
21位	岳辺田	1 53 46
22位	志折	1 54 01
23位	中尾B	1 54 04
24位	甲長野	1 54 23
25位	湯無田B	1 54 51
26位	宿野B	1 56 43
27位	折敷瀬B	1 56 52
28位	平野	1 57 10
29位	村木C	1 58 52
30位	井石B	1 58 57
31位	小樽	1 59 36
32位	湯無田C	2 03 58
33位	協和B	2 05 40

### ヘリース展開

#### ▼一区(中学校―御堂)

毎年学生選手が集中するの一区。今回も十八チームが中高生を起用した。その中で、昨年同区間トップの意地を見せたのが三十四歳の渋江利之選手(協A)。区間記録を三秒縮める快走ぶりで見事新記録達成。また、波江選手に惜しくも三秒差(区間タイ記録)と、デットヒートを展開した、三股の森山浩司選手(一四)の健闘も光る。

#### ▼二区(御堂―三股)

最短の二区(二・四\*)では、甲長野の松尾俊典選手(一五)が十三人をこぼす抜き。タイムも七分四十一秒と区間記録を九秒縮め新記録を達成した。トップで中継したのは、地元の声援に見事こたえた三

股。以下、村A、永A、宿A、乙Aの順で中継。

#### ▼三区(三股―中尾・大弥前)

内海から中尾まで約二、の登り坂が続く。ここで二連ばを狙う乙Aの田崎展行選手(一七)が、五位から一挙トップにおどり出た。各選手とも懸命に力走。その中で、湯Aの長与真澄選手(三三)の十五人抜きと鬼木の波江耕造選手(三七)の十四人抜きが光る。

#### ▼四区(中尾―舞相)

また前評判の高かった川内が徐々に上位へ、二区十三位からタスキを受けた上野光則選手(一八)が区間賞を獲得。快走ぶりで四位に浮上した(乙A―宿A―村A―川内の順)。

#### ▼五区(舞相―平野)

五・八\*の最長区間。前半の借りを返そうと各チームともエース級を起用。寺ノ下―宿を一挙に走り抜け、次第に長い帯と変わる。飛び出したのは、野々川の太田和広選手(二六)。昨年同区間六位の雪辱を果たすべく、見事ないだ天振りを披露した。以下、永A、乙A、村Aの順にタッチ。

#### ▼六区(平野―皿山)

三位でタスキを受けた乙Aの得永健選手(一九)が前を走る野々川、永Aを一挙にとらえ、トップに立った。これを追

#### ▼七区(皿山―終点)

って、川内の森山浩一選手

# 乙長野A



33チーム一斉にスタート (中学校前)

(七)が、五位から二位に浮上。初Vへの執念を見せた。一方十二位でタスキを受けた、皿山・田崎昌也選手(二)も快調に飛ばし、区間最高タイムを記録した。このほか、折Aの石峰満義選手(四)が区間第四位と大健闘。ベテランの気迫を感じさせた。

## ▼七区(皿山―中学校)

トップで受けた乙Aの田崎政彦選手(四)が、二連ばへ

のゴールめざし快走、川内、村A、皿山など後続からの必死の追い上げを振り切り、ゴールテープを切った。この区間では、皿山・坂本健宏選手(一)と岳辺田・黒田英二選手(二)の二人が区間最高タイムを記録した。結局、乙Aが前後半を制し完全優勝。見事二連ばを成しとげた。初Vに燃え最後まで食い下がった川内。古豪復活の意気に燃えた村木A。昨年一位から四位に浮上した永尾A。躍進賞(三十位―二十一位)に輝いた岳辺田。上位進出は果たせなかったものの、沿道からの熱い声援を受け、最後まで健闘した各チームの選手たち。

来年の各チームの活躍を期待したいと思います。



▲五区(陣川橋付近)力走する先頭集団



▲この日ばかりは、この道路も応援部隊で交通ラッシュ (田ノ頭郷・ほ場整備地区道路)



▲裏方に徹する町交通指導員。スタート前の打合わせ、緊張感が漂います。



▲20回出場・堀田芳次選手(協和)中尾坂を力走



▲六区中継点は、毎年平野郷婦人会員らによる湯茶接待。のどのかわきをいやしてくれます。

## <記念表彰> (敬称略)

=20回出場記念表彰=  
協和郷 堀田 芳次

=15回出場記念表彰=  
村木郷 中尾 土 美  
甲長野郷 三 岳 利 之

=10回出場記念表彰=  
永尾郷 福 田 久 益  
湯無田郷 長 与 真 澄  
金屋郷 田 中 徹 澄  
折敷瀬郷 土 橋 渡 明  
" 福 田 德 明  
川内郷 村 川 昌 寿  
岳辺田郷 今 里 哲 郎  
甲長野郷 福 田 康 文  
乙長野郷 福 田 利 広  
協和郷 坂 井 洋 二 郎

## <区 間 賞>

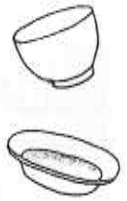
(敬称略)

区 間	距離	選手名	チーム	タイム	大会記録
1区(中学校―御堂)	3.6 <small>キロ</small>	渋江 利之	協A	11'35" <small>大会新</small>	11分38秒 田中 正継(井)
2区(御堂―三股)	2.4	松尾 俊典	甲	7'41" <small>大会新</small>	7'50" 本山 伝衛(乙)
3区(三股―中尾)	4.4	上野 光則	川	14'29"	14'24" 吉武 利勝(折)
4区(中尾―舞相)	5.2	本山 伝衛	乙A	15'43"	15'16" 内田 信好(折)
5区(舞相―平野)	5.8	太田 和広	野	18'27"	17'54" 田中 正継(井)
6区(平野―皿山)	4.4	田崎 昌也	皿	15'41"	13'47" 中村 新吾(皿)
7区(皿山―中学校)	4.0	坂本 健宏 黒田 英二	皿 岳	13'21"	12'29" 吉武 正徳(折)

※1区で森山浩司(三股)が11分38秒のタイ記録を樹立。

# 県教育長が

## やきもの食器で会食



東小・6年2組

学校給食週間中の一月二十七日、伊藤昭六県教育長が町立東小学校（松田寿太校長・児童四百四十四人）を訪れ、一月十八日から強化磁器（やきもの）食器で給食している六年二組の児童三十二人と一緒に、郷土料理の「クジラ」と干し大根の煮しめなどを会食しました。



児童と一緒に会食する伊藤県教育長

会食に先だち行われた県教育長と地元関係者らとの懇談会では、児玉薫町長が「地場産業育成という意味からも、波佐見町をやきもの食器導入のモデル地域に指定し、助成してほしい」と要望。これに対し、伊藤県教育長は「今年四月から県立の養護学校など十一校で波佐見焼のやきもの食器」ワ

レニツカ」を導入する。この県立養護学校への導入がモデルになればと思う。各教委は取り換え時期など考慮して（導入を）検討できるし、学校給食は特に各市町村の理解が必要である」と答えました。

本町では、

昨年の二学期に南小学校（六年一組）で初めて「やきもの食器」を試用。これに併せてメラミン食器の有毒問題などもあって、全国各地から約百件の引き合いが、窓口となっている波佐見陶磁器工業協同組合にあり、既に千三百組ほどを出荷、受注しているところだ。

学校給食は、子どもたちの健康と豊かな人間関係を育てる上で、極めて重要な教育活動であるといわれています。昨年十一月号でも紹介したように、強化磁器食器の全面導入には、給食調理場の施設・設備の改善や調理員の増員など、多くの課題もあるようです。

町では、二学期、三学期の試用期間で得た、さまざまな資料を基に、今後関係方面と協議を重ねながら、やきもの食器の導入への道を見出すことにしています。



# 歳時記

とけかかった雪の下から、黄緑色のフキノトウがのぞいているのを見つけた時のうれしさ。着ぶくれから解放されて外に出てみたら、いつの間にかツクシが顔を出していたのを発見した時の感激。

摘み草は、春を迎えて心はずむ気分にぴったりの楽しい行事です。縦に長い日本列島のことですから、摘み草の時期はまちまちですが、特に冬、雪にとざされる北国では、摘み草は待ち遠しい行事のひとつです。

## 摘み草

もっとも、都会人にとつては、摘み草はレジャーですが、農山村では、食料を得るための仕事でもあります。ところで、実は最近摘み草というより山菜狩りという言葉のほうがポピュラーです。春の野で若菜を摘むだけでなく、山の中まで山菜を探しに行くからなのでしょうか。

近ごろの山菜ブームはやや過熱気味です。細い山道にトラックで乗り込み大量の山菜を採取する、タラの芽などは、先を争って固いうちに持ち帰ってしまったり、来年のことも考えずに芽を全部摘んでしまう、自然の味覚を壊しむのは結構なのですが、こうなると春の野にいでて若菜摘むという古今和歌集の風情には程遠い感じですね。

若菜とともに樹木の緑も目ざめます。三月～五月は「国土緑化運動強調期間」です。この期間中の五月二十二日に、香川県で全国植樹祭が行われます。今年のテーマは「今、人と緑のふれあい」です。





# 過去最高



# 八億三千万円!!



## 波佐見焼新春展示販売会

恒例の波佐見焼「新春展示販売会」が、一月九日勤労福祉会館で開かれ、取引高は過去最高の八億三千三百万円を達成。初春の好調な滑り出しに関係者らは明るい表情を見せていました。

波佐見陶磁器工業協同組合に加盟する窯元三十三社が、

長崎・佐賀県など肥前地区の卸問屋約百二十社の商社マンと「ひざ詰め取引」。

会場では、各窯元自慢の茶器セット、コーヒーセット、茶わん、鉢物など約一万点がずらりと並び、新製品を売り込む粋のいい声が飛びか

つていました。



——活発な商談が展開された新春展示販売会——

昨年の取引高六億八千万円に対し、今回は約二十二%上回ったもの。昨秋からの景気回復基調の波に乗ったの今回の好成績。今後の素晴らしい新製品の登場を期待したいと思います。

## 波佐見焼の銘板が完成

### 波佐見トンネル設置

西九州自動車道（一般国道三十五号武雄佐世保道路）の第二期工事内（田別当地区）にある波佐見トンネルに波佐見焼の銘板が完成、一月十四日除幕式が行なわれました。波佐見の名をPRしようと、本町から道路公団に寄贈したもので、銘板は、トンネル出入口ロニカ所に設置され、それぞれ濃青の呉須に「波佐見」の三文字が白抜きでくっきり、縦六十四、横二百四十九、内に小板（縦三十二、横四十一・五）が十二枚組み込

万円で、町内のメーカーで焼かれたものです。波佐見トンネルは、全長百六十二、幅十、路面からの高さ（内径）六・四、六十一、十月着工、昨年八月末に約三億円をかけて本体が完成したものです。

式には、町や日本道路公団武雄佐世保工事事務所、共同企業体など四十人が出席。神事のあと、

**音楽の町めざす**

第1回波佐見町民音楽祭 (3/12・13)

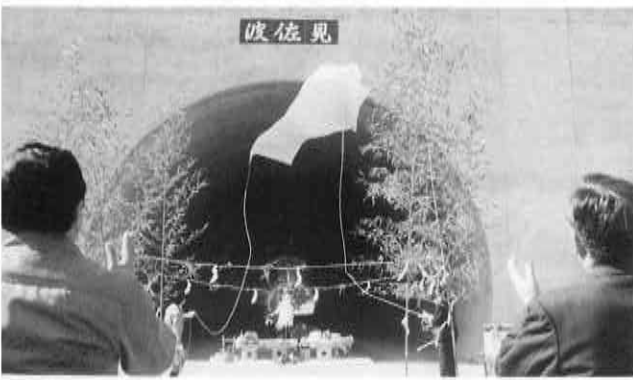
音楽文化のある人間性豊かな町づくりを——

第1回波佐見町民音楽祭が3月12日・13日の両日、勤労者体育センターで開かれます。

町内の音楽家や音楽団体が一堂に会し、相互の交流を深めながら、音楽文化への関心と芸術鑑賞力の向上を図ろうと初めて開かれるもの。

初日は、青年団員らによるコンサートで前夜祭を盛り上げ、2日目は、中高生のブラスバンド部演奏をはじめ、邦楽三重奏（琴・尺八・ピアノ）、合唱、ピアノ独奏などが次々と披露され、最後は、文化キャラバン演奏会（長崎室内楽会）による、ヴァイオリン、チェロ、フルート、クラリネットなど、素晴らしい演奏を聴きながら幕を閉じることになっています。

入場は無料です。家族そろってご来場ください。お問い合わせ先～町公民館（☎85-2034番）

## 鴻ノ巣公園に電話柱ベンチ ▶ ——ライオンズ寄贈——

波佐見ライオンズクラブでは、鴻ノ巣公園内のベンチとして活用してもらおうと、このほどNTTの協力を得て電話柱17本を町に寄贈しました。

同公園には、昨年Aコートバックネット裏に約200人収容のスタンドが完成しましたが、大規模な競技大会などになると、応援席は不足がち。そこで思いついたのが、今回の電話柱を利用したベンチ。電話柱とあって腐蝕しにくいのが利点。長さは4メートル程度で、移動できるように組み立てられています。

同クラブ員らのアイデアベンチ。これからスポーツシーズンに向けて活躍しそうです。



## ◀落葉ひろって堆肥づくり ——緑の少年団——



波佐見町緑の少年団では、1月30日の午後、花だん用堆肥づくりを実施しました。

まず、鴻ノ巣公園内で約2時間かけて落葉ひろい。20袋ほど集まったところで、改善センタ花だんに持ち帰って早速堆肥づくり。米ぬかとよく混ぜ合わせながら、今年もきれいな花を咲かせようと、団員たちは意欲満々。4月中旬には花だんの土と混合し、6月上旬から中旬にかけて花苗植栽です。

緑のシーズンは、かけ足でやってきます。あなたも落葉ひろって堆肥づくり挑戦してみませんか。

なお緑の少年団では、町内の小学3年から5年を対象に団員を募集します。入団ご希望の方は、4月10日まで役場企画係へご連絡ください。



## 広げよう食生活改善の輪 ——食生活改善推進員合同研修会——

「家族そろって健康管理」食生活改善推進員合同研修会が、1月29日農村環境改善センターで開かれ、今年度の各地区活動の成果や今後の取り組み方などについて活発に意見が交わされました。

この日集まったのは、約150人の各地区推進員。午前中3班に分かれて、この1年間取り組んだ各地区の活動や推進員勉強会の反省と、来年度事業の計画などについて討議。午後からは、先進地活動のスライド映写会を行いました。

59年度に始まった食生活改善推進事業。推進員の数も今年4月には、現在の153人から191人へと拡大します。

「自分の健康は自分で守ろう」をモットーに、これまで婦人会をはじめ、壮年会・老人会・育友会等の各種会合や町主催の諸行事など、幅広く食改運動を展開。さらに今後においても「食改運動の輪を広げるべく、地道に一步一步前進していこう」と推進員のみなさんは心を新たにしています。

今後の食生活改善推進事業に対し、町民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。



健康一番!

活発な意見が交わされた  
食生活改善推進員合同会議

# アリガトウ波佐見!!

——ニュージールランドから

交換留学生——

「ようこそ波佐見へエリザベスさん」

ニュージールランドの交換留学生として、一月四日から二十三日まで本町に滞在したエリザベス・ウォルシュさん(21)。

志折郷の八並信さん宅でホームステイしながら、滞在中たくさんの方々とふれあいを深めました。

エリザベスさんは、首都ワシントンから北へ車で二時間ほどの小さな町「ウッドイル」に住んでおり、仕事は小学校の先生。八人兄弟の一人娘で、家は、たくさんの羊や乳牛などを飼育する大規模農家。

「波佐見の気候は、ウッドイルに似ている。でも、とっても寒いところね。ロクロに挑戦したけど難しく出来なかった。茶道、華道にもアタックしたが、足がしびれちゃって」と笑顔いっぱい話すエリザベスさん。

「アリガトウ、オハヨウ、デイジョーブダ、ゴメンナサイ、トイレ、デブ、スシ、タコ、サシミ、コンニチワ」など、覚えたての日本語を次々に披露。

「彼女は覚えるのがとっても早い。もう五十以上の日本語をマスターしたんじゃないかな。それにジョークが好きで、反対にやりこめられる時もありましたよ。妻が一番多くエリザベスと接する機会があったんですけど、単語を並べて必死に会話していました。身ぶり手ぶりで結構通じちゃうんですよ」と楽しいエリザベスさんの生活を振り返る八並

さん。  
滞在中は、波佐見ライオンズクラブ会員らが案内役。町内の窯元見学をはじめ、消防出初式、志折の鬼火たき、学校、各公共施設など、スケジュールいっぱいの中で、常に明るい笑顔のエリザベスさん。一月二十一日の鴻ノ巣公園(ライオンズの森)での記念植樹では、特に感謝した様子。

また、一月二十三日は、「一日波佐見郵便局長」を務め、町役場、金融機関、酒造会社なども訪れました。

「友好的で、とっても親切な波佐見の人々。本当にありがとうございました」と、本町の数々の思い出を胸に、一月二十四日、帰国のため東京へと向かいました。  
エリザベスさんの今後の活躍を期待します。



▲1月23日には、一日郵便局長として、町役場を訪問。兒玉町長と楽しい会話がありました。

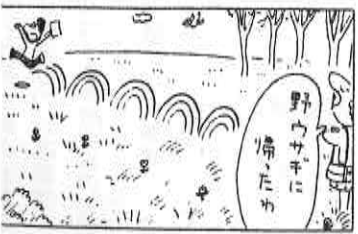
んね  
のひろは



「波佐見での生活、とってもハッピーでした」と、とっても明るいエリザベスさん。(志折郷 八並 信さん宅で)

## さわやか君

西村 宗



# 私のふるさと⑥

東京都北区(田端)



岩永宏子さん  
(39歳)  
折敷瀬郷

私のふるさとは、東京都北区田端です。——上野と池袋の中間にあり、山手線、京浜線と電車が縦横に走り、下町風情の漂う人情味豊かなところ。

駅が近かったせいか、小学生の頃、よく一人で山手線の電車に乗ったのを覚えています。電車とともに育ったという感じなんです。年一回は帰っていますが、たくさんの電車を見ては、子どもたちは大喜びなんですよ。

主人(聖哉さん)と結婚したのは14年前。五島・松浦に9年、そして波佐見に来たのが5年前。結婚する前に一度この町に来たんですが、本当に「田舎」という感じでしたね。でも来るたびにこの町がどんどん変わってきているって感じで、とっても活気のある町だなあと思っています。

町への要望といえば、文化ホール建設ですね。小さくてもいいから、気軽にコンサートなどできる施設がほしい。それと、子どもたちの遊び場が少ないんじゃないでしょうか。町内には、いたるところに集会所やグラウンドなど出ていますが、その周辺は意外と駐車場やちょっとした花だんだけ、もっと子どもたちの遊び場(遊具施設)もあっていいのではないかと思います。

# 新しい家族 No.7

## 夫婦で子育て

東京都立大学教授・心理学

詫摩武俊

子供についての相談を聞く立場で思うことが二つあります。

一つは、親が心配や不安と思うのは、親自身の子供

### 親が心配すること

のときと比較して違っていると思つたときに多いこと。もう一つは、心配しなくてもいいことを心配していることがよくあるということです。

たとえば「乱暴で困ります」というのは母親が昔、おとなしい子供であった場合にほぼ限られます。「忘れ物ばかりします」とい

分のことを肯定的に考えやすいのです。子供は夫婦の間に生まれてきます。父親に似ていることもあれば母親に似ていることもありです。親から素材を受けついでいるので、親に少しも認められない特徴が、子供の中に濃く認められることはきわめてまれなことです。両

人も多いのです。二人の親の子供時代の様子が著しく相違すると、問題が生じてきます。「もつと活発な子供であつてほしい」と元気のいい母親がおとなしい子供を連れて相談にきたときに、父親の様子を尋ねてみると、静かで穏やかな人柄で、子供のときもそうだったというこ

親とも体操が上手であつたときには子供も鉄棒や飛び箱が多いいものです。音楽や工作についてもほぼ同じことがいえます。単に素質が伝わるというだけではありませぬ。親が好きであつたり得意であつたことには子供が接触する機

とがよくあります。小学校二年の男の子が夜尿癖があつて、母親はその治療に一生懸命でした。父親はどうかというところ、黙って苦笑しているのだそうです。この父親には子供のとき、夜尿癖があつたのです。自分の子供のころだけを基準にして焦つたしつけをしな

いでほしいのです。夜尿もそうですが、壁や本に落書きをする、きょうだいげんかをする、いたずらばかりする、など親を困らせることはいろいろあります。確かに困ることですが、夜尿も落書きもいつまでも続くものではありません。時がたてば必ずしなくなるものです。ゆとりのある気持ちで子供を見守つてほしいと思ひます。

- 昭和64年歌会始のお題及び詠進歌の詠進要領
- 昭和六十四年歌会始のお題「晴」と定められました。
- 詠進歌の詠進要領
- 一人一首とし、未発表のものに限ります。
- (一)用紙は、半紙(和紙)とし、毛筆で自書してください。
- (二)書式は、半紙を横長に用い、右半分にお題と歌、左半分に郵便番号、住所、氏名(本名、ふりがなつき)、生年月日及び職業(なるべく具体的に)を縦書きで書いてください(書式図参照)。

書式図

晴	郵便番号	住所
氏名	氏名	氏名
職業	年月日生	

(約33センチメートル)

- 三 詠進の期間
- 本年九月一日から十月三十一日までとし、郵送の場合は、消印が十月三十一日までのものを有効とします。
- 四 郵便のあて先

〒100東京都千代田区千代田一番一 宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。



# 胃・十二指腸潰瘍(消化性潰瘍)

東彼医師会 岩永 紘一 (東彼杵町)



私たちの願いは、何といつても健康です。でも、ちょっとした油断でいるんな病氣やけがに見舞われることがあります。こんな時、お世話になるのが、お医者さん。

このコーナーでは、東彼医師会の皆さんから、病氣やけがに関する心がけや応急措置などについて、ご意見をお寄せいただき、みなさんと一緒に健康について考えてみたいと思います。

胃潰瘍とは胃壁がえぐられる病気で、ひどいものは筋層漿膜をつらぬき穴があく場合もあります。胃に続いた部分にある十二指腸にできたものを十二指腸潰瘍といい、両者を併せて消化性潰瘍と呼びます。男性に多く十二指腸潰瘍の方が比較的若い人に多い。症状として空腹時の上腹部痛、嘔気、もたれ感などが起こります。潰瘍の薬は次々と良い物ができ早く治るようになつたので、胃の調子が悪い時は早く医師にかかり、胃癌との鑑別を早く治す。

めることが重要となります。潰瘍は大抵注射や内服薬で治りますが、出血がひどいもの、穴がほげてしまったもの、食物の通過障害があるものなどは手術を要します。潰瘍ができた場合の日常生活のポイント

一、睡眠時間を十分にとり早寝早起きを心がけましょう。(潰瘍は夜作られるといわれます。)

二、毎日よりラクスして過ごし、毎日ラックスして過ごし、タバコ、コーヒーはなるべくやめること(できればキツパリやめましょう。タバコは胃の血流を著しく低下させます。)

三、刺激の強い食品、香辛料は避けて下さい。熱い物や冷たい物も避けて下さい。

四、アルコールはなるべく控え、特に冷たいビール、アルコール分の多い酒(ウイスキー、しょうちゅうなど)も控える。

五、食事時間をできるだけ守り、長時間の空腹を避けて下さい。

一、睡眠時間を十分にとり早寝早起きを心がけましょう。(潰瘍は夜作られるといわれます。)

二、毎日よりラクスして過ごし、毎日ラックスして過ごし、タバコ、コーヒーはなるべくやめること(できればキツパリやめましょう。タバコは胃の血流を著しく低下させます。)

三、刺激の強い食品、香辛料は避けて下さい。熱い物や冷たい物も避けて下さい。

四、アルコールはなるべく控え、特に冷たいビール、アルコール分の多い酒(ウイスキー、しょうちゅうなど)も控える。

五、食事時間をできるだけ守り、長時間の空腹を避けて下さい。

一、睡眠時間を十分にとり早寝早起きを心がけましょう。(潰瘍は夜作られるといわれます。)

二、毎日よりラクスして過ごし、毎日ラックスして過ごし、タバコ、コーヒーはなるべくやめること(できればキツパリやめましょう。タバコは胃の血流を著しく低下させます。)

三、刺激の強い食品、香辛料は避けて下さい。熱い物や冷たい物も避けて下さい。

四、アルコールはなるべく控え、特に冷たいビール、アルコール分の多い酒(ウイスキー、しょうちゅうなど)も控える。

五、食事時間をできるだけ守り、長時間の空腹を避けて下さい。

一、睡眠時間を十分にとり早寝早起きを心がけましょう。(潰瘍は夜作られるといわれます。)

二、毎日よりラクスして過ごし、毎日ラックスして過ごし、タバコ、コーヒーはなるべくやめること(できればキツパリやめましょう。タバコは胃の血流を著しく低下させます。)

三、刺激の強い食品、香辛料は避けて下さい。熱い物や冷たい物も避けて下さい。

四、アルコールはなるべく控え、特に冷たいビール、アルコール分の多い酒(ウイスキー、しょうちゅうなど)も控える。

五、食事時間をできるだけ守り、長時間の空腹を避けて下さい。

こんにちは  
栄養士です

## 夜食について

胃に負担がかからないよう



春三月までは受験シーズンですが、受験生にかぎらず、夜型人間が増えている現在、夜食をとる人も多いようです。夜食の後、長く起きている人、一時間位で寝る人、食べて間もなく寝る人などさまざまですが、いずれにしても、夜食の中心は、胃に負担がかからないこと、肥満を招かないこと、なるべく手軽に用意出来ることなど、心をくばりたいものです。同じ手軽でも、菓子類、スナック類、果物(みかんの食べすぎ)、炭酸飲料などが続きますと、熱量のとりすぎにもつながります。

例えば、子供達の大好きなポテトチップ一袋(九十グラム)、炭酸飲料一缶で一食分近い熱量がとれます。胃液の分泌や胃腸の消化吸収といった働きは夜は少ないと言われます。睡眠中は、消化器もなるべく休ませてやりたいのです。

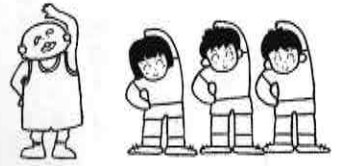


## 朝のラジオ体操

波佐見開催決まる!!

- 期日～9月15日(敬老の日)
- 場所～体育センター前広場(雨天・センター内) 予定

町民のみなさん、9月15日早朝には、体育センターに集合しよう!



63年度から

# 国土調査の面積による課税

昭和三十三年度から行った国土調査事業も、町民皆さんのご協力により昭和六十一年三月に町内全域を完了いたしました。

国土調査の結果は、高度な技術による測量で地図ができあがり、その地図に基づいて一筆ごとに面積が算出されています。そして、その利活用は、所有者の財産の管理・保

全に役立っていることはもちろんですが、その他土地の確認、分合筆、売買、交換、道路整備、公共事業など、幅広く活用されています。

なお新面積は、地域によっては、早い時期に確定していた所もありましたが、納税者の公平化を図るため現在までは従来の台帳面積によって課税を行ってまいりました。

調査が完了したことにより新面積での課税は、国の指導や県下の国土調査を終了した町の課税実態を考慮して六十三年度からとなります。

町民皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。

申告は正しくお早めに!!

所得税・贈与税の確定申告は三月十五日まで

所得税の確定申告は二月十六日から三月十五日まで

贈与税の確定申告は二月一日から三月十五日までとなっています。

毎年三月十日を過ぎますと

税務署は大変混雑し、落着いて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくことが多くなります。

申告は正しく、できるだけ早めに、そして納税も期限内(三月十五日まで)にお願いします。

期限までに申告をしなかつたり、誤った申告をしますと後で税務署の調査によって不足の税金を納めるだけでなく加算税や延滞税など余分の税金を納めることとなりますので正しく申告しましょう。

なお確定申告のおたずねは、佐世保税務署(電話2161)にどうぞ。

多彩な催し

第三十回陶器まつり



恒例の波佐見焼陶器まつりが四月一日から五日まで、やきもの公園を主会場に開かれます。今年はこちらようど三十回目を記念すべき年。

(多彩なイベント)

- 連日開かれる催しもの
- 陶器まつり
- 08ながさき陶磁展
- 0中尾山窯元めぐり
- 初日(一日)は
- 陶祖祭(大村藩主の子孫を招く)
- 三日(日曜)
- ユニーク「皿まわし大会」
- 弓道大会など

ご協力を

## 広げよう緑を育てる 愛の輪を

「緑の羽根」募金 1本30円!!  
緑豊かな郷土を築くため、みなさんの温かいご理解とご協力をお願いします。



このほか、姉妹都市締結のため、ブラジル・マウアー市からも期間中來町されることになっており、地球の真裏、マウアー市とまつりを通して友好を誓います。

# ひろば

の方は役場  
お知らせください。



## 消えたかな! 気になるあの火 もう一度

～春の全国火災予防運動～  
2/29～3/13

2月29日(月)から3月13日(日)まで、春の火災予防運動が実施されます。

今回の統一標語は「消えたかな!気になるあの火もう一度」。

本町では、昨年2月から3月にかけて山林火災が集中して発生しています。これから野焼きなどをされる方は、特に、周辺の状況を充分確認し行ってください。なお、野焼きをする場合は、事前に役場農林課へ届出をお願いします。

火の用心、火の用心

### 「公営住宅の新築住宅の 入居者募集について」

町では、公営住宅協和団地新築住宅の入居申し込みの受付を3月10日まで募集いたしています。募集戸数は次のとおりです。

種別	戸数	規格	家賃 月額
一種	5戸	3DK	23,000円
二種	10戸	3DK	20,000円

申し込みご希望の方は役場建設課(☎85-2111番)まで

## 児童手当制度

のあらし

2人目から支給されます!

### 〈児童手当とは〉

家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として支給される手当です。

### 〈受給できる人〉

昭和63年4月1日からは義務教育就学前の児童を含む18歳未満の児童を2人以上養育している方で収入が一定の額未満の場合に2番目の児童から支給されます。なお、自分のお子さんだけでなく、その児童を監護し、一定の生計関係があれば受給できる場合があります。また、義務教育就学前の児童には、病弱、発育不完全その他やむを得ない事由のため就学困難と認められ、現に就学していない児童が含まれます。

[昭和63年3月31日までは、2番目の児童は昭和58年4月2日以後に生まれた児童、3番目以降の児童は昭和53年4月2日以後に生まれた児童が手当の対象となります。]

### 〈児童手当の額〉

児童手当は、2番目の児童には月額2,500円、3番目以降の児童には、1人につき月額5,000円が義務教育就学まで支給されます。

### 〈特例給付とは〉

児童手当の所得要件に該当しないため児童手当の支給対象とならない被用者(厚生年金等に加入している人)又は公務員のうち、収入が一定の額未満の方に事業主の負担により支給されるものです。

### 〈請求の方法〉

昭和63年4月1日に新しく対象となる方は3月31日までに手続きをすませて下さい。

児童手当や特例給付の受給資格があると思われる方で、まだ手当の支給を受けていない方は印鑑ご持参の上役場住民福祉課福祉係へ申請の手続きをしてください。



# お知らせ

掲載ご希望  
企画係まで

88ながさき

陶磁展

### 作品募集

県陶磁器振興会では、88ながさき陶磁展の作品を募集します。

▼部門「デザイン、工芸、伝統的工芸品産業の三部門」

第一部 デザイン部門

〈自由作品〉

一般日用食器、割烹食器、食卓小物類、玩具、置物、室内装飾品、装身具、アウトラリア用品などなんでも結構ですが、原則として反復生産を意図したもの。

〈テーマ作品〉

「夏」をテーマとしたデザイン。

「夏」を自由に表現してく

ださい。パターン、形状、技法等は、限定しません。

第二部 工芸部門

技術、技法を高度に駆使し、創作性・芸術性の高いもの。

第三部 伝統的工芸品産業部門

波佐見焼、三川内焼の伝統的工芸品産業指定の内容に基づき、伝統的技術、技法及び原材料を用いたもので、主として日常生活に供される実用的価値の高い工芸品で、製造過程の主要部分が手作業によるもの。

▼応募資格「デザイン、工芸

については制限なし。伝統的工芸品産業については、波佐見、三川内に在住、勤務されている方に限る。

▼作品受付「三月二日から三月十六日まで

▼作品搬入場所「陶芸の館

▼発表展

○波佐見展「四月一日から四

月五日まで(陶芸の館)  
○佐世保展「四月十三日から四月十七日まで(島瀬美術センター)

詳しくは、県窯業試験場(☎八五―三―一四〇番)へおたずねください。

### 二月は 労働保険 適用促進月間

公共職業安定所・労働基準監督署では、二月一日から二十九日までを労働保険適用促進月間として、未加入事業所の加入促進に取り組んでいます。

現在まで、加入手続きをさ

れていない事業所は、早め

に手続きをお願いします。

なお、労働保険関係事務に

ついては、労働大臣の認可を

受けた労働保険事務組合(商工会等)でも代行することができます。お気軽にご相談ください。

### 東彼地区 保健福祉組合職員

職種・人員

技能労働職員 一名

▼応募資格「高卒以上で普通自動車運転免許取得者、郡内居住で昭和三十一年四月二日から四十五年四月一日までに生まれた男子

▼申込手続「同福祉組合事務局で交付する「受験申込書」により申し込むこと

▼募集「切り」三月一日

▼採用予定「四月一日

詳しくは、福祉組合事務局(☎八二―二四五二番)へおたずねください。



### 来月の納金

- 国民年金保険料
- 国民健康保険料
- 水道使用料

### 善意の窓

○香典返しにかえて  
田ノ頭郷 高尾 時夫様  
御夫人故高尾トヨ様  
長崎市 山口 繁男様  
御令弟故山口勝行様(中尾)  
折敷瀬郷 山田 朝男様  
御尊父故山田萬太郎様  
湯無田郷 前田 伝様  
御母堂故前田ハセ様  
永尾郷 秀 サダエ様  
御母堂故秀ラク様  
永尾郷 常松 昇様  
御母堂故常松トキ様

1日1円(年360円)で  
町村交通災害共済へ  
加入しましょう!!



わたしたちのごく身近なところで、毎日毎日交通事故が発生しています。予期しない事故にあわれたときに見舞金をお支払いするのが町村交通災害共済制度です。

#### 現在加入している人は

3月31日で共済期間が終了しますので、引き続き加入申込みを!!

#### まだ加入されていない人は

ぜひこの機会に申込みを!!

掛金	1人につき360円
共済期間	4月1日から翌年3月31日まで
災害見舞金	2万円から100万円までとなり、10等級に区分されています。

詳しくは、各家庭に配布するパンフレットをご覧ください。  
担当・役場総務課

### お誕生おめでとう

子の名 父の名 住所  
阪本真由美 進雄 中尾郷  
前田 貴史 稔 " "  
太田みどり 学 三股郷  
吉福 恭兵 勇三 小樽郷

### ご結婚おめでとう

以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。  
波佐見町社会福祉協議会

廣瀬 洋助 永尾郷  
森浦千代美 宿郷  
太田 幸雄 湯無田郷  
野口かおり 有田町  
山口 邦雄 井石郷  
坂井 聖子 佐賀市

松下山 智哉 耕治 協和郷  
小佐々 希 和則 " "  
一瀬 泰文 信 稗木場郷  
土橋かおる 義昭 皿山郷  
池田 仁美 陽一 " "  
三岳亜沙美 吉己 " "  
土橋千穂 時法 折敷瀬郷  
高原 義幸 昭則 金屋郷  
山口 剛志 尚登 " "  
井手祐一郎 勇次 " "  
富木あゆみ 義典 鬼木郷  
中尾 慶彦 忠 " "  
北村 眞生 幸馬 " "  
中村 光 正敏 湯無田郷

### おくやみ申し上げます

堀江 常雄 中尾郷 79歳  
塩増ミサ子 " " 74歳  
秀 ラク 永尾郷 89歳  
山領 幸子 小樽郷 65歳  
山口千代次 井石郷 78歳  
福田 勝 金尾郷 83歳  
山口 カヨ " " 86歳  
野沢 ハツ 折敷瀬郷 80歳  
川原 二美 " " 72歳  
岩永 ツジ 皿山郷 71歳  
村川 巽 川内郷 65歳  
安永 ヒサ 協和郷 84歳

山北 廣高 武雄市  
飯野 直美 井石郷  
森 博之 大村市  
植田ゆかり 折敷瀬郷  
田澤 幸広 皿山郷  
林田 博子 佐世保市  
小川 博 福岡市  
本山加寿子 乙長野郷  
田嶋 良和 志折郷  
藤永 郁子 佐世保市



成功させよう!!

「ハイウェーを走ろう」  
ロードレース大会  
3月20日(日)  
家族そろって  
波佐見育田  
インターチェンジに  
集合しよう

こちら  
編集室



▼「広報はさみが六十二年県広報コンクール・広報紙の部(町村一部)で最優秀賞に選ばれました」と一月二十七日午後、県からの知らせ——。  
「まさか、この思いと、やったあ」との思いが交錯する中、重い荷物がズツシューンとのしかかってきたような心境。  
ちやうど「広報はさみ300号」の編集にかかっている時だっただけに熱いものが走る。——この受賞は何といっても町民のみならず、まのご指導とご協力の賜ものです。ありがとうございます。  
これを機会に、さらに町民のみならずとのふれあいを深めながら、親しまれる「広報はさみ」を目指したいと思えます。